

J R 総連通信

2022年4月18日 No.1546

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

福島原発事故から 11 年 ロシアは原発に手を出すな！ 4.16 さようなら原発首都圏集会



4月16日、「さようなら原発」一千万署名市民の会主催の「4.16 さようなら原発首都圏集会」が東京都・亀戸中央公園で開催され、2,300名(主催者発表)が結集し、JR総連からは在京単組を中心に9条連の仲間と共に100名で参加してきました。

主催者を代表して鎌田慧さんは「ロシアのウクライナ侵略で、自民党は水を得た魚のように、『核の保有』『敵基地攻撃能力の保有』を口にしている。ロシア軍はチェルノブイリ原発を狙い世界を放射能の危険にさらしている。原発が核爆弾と同じ役割を果たしている。1日も早く戦争をやめさ、原発がなくなるまで、戦争がなくなるまで、頑張りましょう!」と述べました。

また、福島原発刑事訴訟支援団をはじめとする5名の方から、原発問題やウクライナ情勢について語られ、戦争と原発のない社会を求めて声を上げていくことを全体で確認しました。

最後に落合恵子さんは「声をあげる人が一人、二人と広がれば社会は必ず変えられる。11年前の春、どれだけの苦しみを味わったか。その苦しみは一つも減らないで今まで来たが、唯一の誇りは闘ってきたこと。私たちは被害者になりたくないし、誰に対しても加害者にもならない。福祉が削られ、防衛費が膨らみ続けるこの社会に『おかしい』と声をあげ、参議院議員選挙でしっかり意志を示し、私たちの手で平和を守ろう」と呼びかけました。その後、参加者2,300名で錦糸町までデモ行進をおこない、私たちの意志を市民へ訴えてきました。

福島原発事故から11年、未だに廃炉の見通しも立っていません。国と東京電力は、汚染水の海洋放出を強引に進め、再び福島を汚そうとしています。今こそ「さようなら原発」の声を上げ、職場と地域から戦争反対！原発反対！のうねりをつくり出していこう！